

前橋西高 PTAだより

第68号

群馬県立
前橋西高等学校
PTA文化部

黎明



3年間を振り返って

PTA会長 倉持 節子

平成二十九年度も残りわずかととなりました。PTA会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年もグリーンカーテンの設置・撤去、マナーアップ運動、除草作業など理事さんをはじめとした会員の皆様にご協力を頂きました。本部を代表して御礼申し上げます。

活動を通して毎回思うことは前西の保護者パワーはすごいな、ということですが、グリーンカーテンの撤去や除草作業は結構重労働です。しかし、皆さんとても楽しそうになおかつ効率的に作業を主体的に進めてくれるため毎回助けられたと思います。先生たちとも作業を通して仲良くなれるため大変だけど貴重な活動だったと思ひ返します。

マナーアップ運動は生徒の皆さんと直接触れ合える素敵な時間でした。挨拶の仕方での学校の雰囲気がかかるなと思ひています。前西生はゆったりのんびりな感じの人が多いのかなと思ひました。私は息子が前西に入学することになった時、期待より不安の方が大きかったです。それは周りの人から聞く良くない噂や私が勝手に作り上げた先入観からでした。しかし、3年間の本部役員としての経験を経て今、前橋西高校がとても大好きになっていきます。高校選びに迷っている中学生がいたら胸を張って前西においてと薦めるくらいです。

私はこの前西でいろいろな経験をさせてもらいました。

初めて参加した高校PTA連合会の関東大会は山梨での開催で前橋南高校の方と一緒に楽しいバスの旅でした。翌年は横浜で羽鳥アナウンサーの学生時代のお話をお聞きしました。全国大会は静岡で

の開催でした。静岡大学の小和田先生のNHK大河ドラマ「直虎」を織り交ぜながらの講演会、静岡出身の俳優である寛利夫さんの破天荒なお話を拝聴しました。また、群馬県高校PTAでは本部役員となり、総会や指導者研究会を開催する側となりました。いろいろな高校のPTA会長の方と知り合うことが出来て楽しい時間を過ごす事が出来ました。前西で役員をしていたからこそ出会えた仲間だなと思ひます。

一方、前西の個性豊かな先生方とお知り合いになれたのも嬉しいことでした。学校教育についてとても熱い想いをお持ちの校長先生、縁の下の力持ちで何でもバランス良くやって頂ける教頭先生、いつもクールな感じですが実はとても生徒想いの事務長さん、PTAのおぼさんやおじさんに対して嫌な顔ひとつせず柔軟に対応してくださる渉外部の先生方。チーム前西は素朴で温かい環境の中で絆を少しずつ深めて来たのだなあとしみ思ひます。周りの高校に比べるとまだまだ歴史が浅い前橋西高校です。部活動で有名になるもよし、有名大学への進学率でトップを飾るのもよし、どのような高校に成長していくのか今後が楽しみです。高校のイメージなどについて目を囚われがちですが、大切なのは生徒一人ひとりがこの高校で楽しい思い出をたくさん作る事です。私はこの高校で役員をやった本当に良かったと思ひています。何より、こんな頼りない私を支え続けてくれた本部役員の皆様に感謝の思い一杯です。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございます。私は前西が好きです!!



子どもの居場所

校長 廣澤 秀伸

PTA会員の皆様には本年度も本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましたことに、改めて厚く御礼申し上げます。

この間、倉持会長を中心に本部役員の方々には大変お世話になり、グリーンカーテンの設置、マナーアップ運動、除草作業、各種研修会への参加など、大変充実した活動をさせていただくとともに、施設設備や進路指導の充実、部活動振興等にご理解をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

さて、今年も三年生百九十八名が本校を巣立って行きました。彼らにとって前橋西高は一生の母校になります。彼らが西高に何を求めて門をくぐり、何を得て門を巣立って行くのか。卒業式での生徒諸君を見送る際に、もう二度と戻ることのない時間に、十分なことをしてあげられたのだろうか？もつとできたことはなかったのだろうか？今後も母校を誇りに思ってくれるだろうか？という不安に駆られます。

前西は進学実績があるでもなく、部活が強いわけでもなく、特徴のない学校という評判を耳にすることがあります。確かに少子高齢化の時代の中にあつて、高校の統廃合は避けられない時代にあり

ます。そのため、各校が特色作りに必死になっているのは事実です。しかし、学校は人作りが目的であり、実績作りが目的ではありません。その意味で昨今の高校は厳しい生き残りを掛けて実績作りに血眼になっている姿に違和感を覚えるのは、私だけではないと思います。

県内唯一の国際科が設置された前西の教育目標は「高い知性、豊かな情操、健全な心身を涵養し、国際社会に貢献する人材を育成する」とされています。この崇高な理念を実現する前提として、将来AI（人工知能）は飛躍的に進化し、ニーズ（仕事）を求めて国際化の進む社会で必要とされる資質・能力は何かということなのです。

二十世紀型の大量生産・大量消費の価値観を支えてきた競争主義は終焉を迎え、排除を前提とした競争社会から共生社会に確実に時代は変わってきています。障害者もLGBTの人も外国籍の人も差別されることなく、同じ社会に生きるかけがいのない一員として受け入れられる多様性（ダイバーシティ）への受容力、そして自分の価値観が絶対であり、多数派の価値観が優先される絶対解の時代から、その人にとって必要

な価値観も認め合う納得解の時代での自己尊重（アサーション）の姿勢、物事や人物を評価する時に見方を変えることで否定的に捉えていた価値観を肯定的に解釈（リフレーミング）し直す柔軟性、こういった能力こそがこれからの時代では必要とされると考えています。

前西は二十世紀型の価値観で言えば魅力に乏しい学校かもしれません。しかし、今まで夢が描けなかった生徒が高校生活の中で「ありがとう」という言葉に自己有用感を目覚めさせ、頑張っているのにそう思ってもらえなかった生徒が結果は出なくても努力することの大切さを認めてもらえ、自分に自信が持てなかった生徒が自分の良さを他人から教えてもらえるような学校を目指しています。そのためには彼らにとって前西が、安心できる居場所であることが何よりも大切なことだと思っています。

七月七日、八日の二日間にわたり、神奈川県横浜市で開催された関東PTA大会に参加しました。会場はパシフィコ横浜で行われ、横浜だけに景色が綺麗な場所であり、海風が心地よい環境でした。全体会では、「心ふれあうしなやかな人づくり」学び行動するPTAのメインテーマのもと大会宣言文発表があり、心にのこる宣言発表でした。記念公演にはフリーアナウンサーの羽鳥慎一さんと司会の石川みゆきさんが出演し、「聞くから話すちから」のテーマでインタビュ形式のトークショーが行われました。先輩、後輩アナウンサーの話など、随所で会場を笑わせる展開で、上下関係や人

PTA活動報告

関東高等学校PTA連合会大会

神奈川大会

書記 深代 洋

七月七日、八日の二日間にわたり、神奈川県横浜市で開催された関東PTA大会に参加しました。会場はパシフィコ横浜で行われ、横浜だけに景色が綺麗な場所であり、海風が心地よい環境でした。全体会では、「心ふれあうしなやかな人づくり」学び行動するPTAのメインテーマのもと大会宣言文発表があり、心にのこる宣言発表でした。記念公演にはフリーアナウンサーの羽鳥慎一さんと司会の石川みゆきさんが出演し、「聞くから話すちから」のテーマでインタビュ形式のトークショーが行われました。先輩、後輩アナウンサーの話など、随所で会場を笑わせる展開で、上下関係や人

とのふれあいの大切さ、話すということは、相手の話をよく聞くことなどと心に残る話をしていただきました。

翌日の第一分科会では学校教育とPTAとの課題で、最初に埼玉の大宮東高校の発表がありました。普通科と体育科があり、運動設備の充実の他、放課後営業の食堂もあつて、部活動の強い味方になっていました。次に前橋工業高校では、工業高校らしい技術力の発表があり、卒業生が各企業、行政関係で活躍し、卒業生を受け入れている事などの話でした。両校ともすべては生徒の為に活動している素晴らしい話でした。今回大会に参加した他校の話も聞き、とても感動した大会となり、参加し、得たことを今後のPTA活動に活かしたいと思います。

全国高等学校PTA連合会大会

静岡大会

副会長 桑原 幸正

平成二十九年八月二十四、二十五日静岡県で開催された第六十七回全国PTA連合大会に参加しました。メインテーマ「有徳の人」づくり、サブテーマ「未来のために行動する一人を育てよう」。有徳の人とは、個人として自立した人、人との関わり合いを大切にすること、より良い社会づくりに参画し行動する人を意味します。今大会は



（美術部作）





一人もの参加という事でメイン会場、サブ会場に分かれ行われました。

初日はメイン会場で高校生郷土芸能部による太鼓、笛、摺り鉦で奏した粋な祭り囃子でお出迎えされたの開会式。基調講演は静岡大学名誉教授の小和田哲夫氏より「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」、先生はNHK大河ドラマの時代考証を数多く担当しており、その舞台裏話を交えながら面白く解りやすく話して頂きました。先生は、歴史はただ過去の出来事ではなく、未来につながっている、新しい時代を切り開こうとした人々のおかげと言います。続いてサブ会場にて、分科会発表四校を拝聴しました。保護者のための進路サポート勉強会、職業講座と各校特色を生かした取り組みが有り、その活動を通して子供達の希望進路の実現に向けて支援して頂きました。

二日目は、俳優の寛利夫さんによる記念公演（トークショー）で会場を沸かせてくれました。今大会に参加させていただきとても勉強になり、今後のPTA活

動に役立てていきたいと願います。

清掃活動

一学年理事 松本 理恵子

九月十五日、学校周辺の清掃活動、草むしりを校長先生はじめ、教職員、PTA役員、学年理事の方々とともに行いました。

清掃内容は正門から左右二班に分かれてスタートして、例年通りのゴミ拾い、落ち葉や雑草の撤去などを、時間に限りがありました。学校西側の塀のツタの葉は、全

てが落ち葉になっておらず、茶色くなった部分をとるのに大変でした。



たがともきれいになりました。

この通学路を毎日安全に生徒達が登下校してくれること、近隣の方々の通行の安全の確保を願いながら学年理事として参加させていただいて、とても意味のある大切な活動だと思いました。

群馬県中毛地区 PTA指導者研究会

会計監査 坂部 美恵子

十月六日、前橋テルサ大ホールにて中毛地区指導者研修会が行われました。

研究協議については、前橋商業高校が「高校教育の振興」、前橋南高校が「進路指導」、伊勢崎清明高校が「生徒指導」、伊勢崎工業高校が「家庭教育」をテーマにPTAとの関わりについて発表されました。各校のPTA活動発表では、マナーアップ運動をはじめ、土曜活用の奨励や姉妹校との関わりからの海外修学旅行や進路講演会、視察研修旅行の実施などが紹介されました。

また校内夜間パトロールを通して防犯活動以外でも放課後の生徒



の姿を認めてもらうことに意義がある、と実施を続けている学校もありました。体育祭で豚汁を作った提供をしている学校はPTA役員を中心に保護者の協力のもと、子供たちが楽しみにしている活動になつていくようです。

研究協議の後は高校生による意見発表があり、本校からは齋藤暁人くんと片柳仁くんが西高の特色である地域交流活動、グリーンカーテン、国際科の紹介などを立派に発表してくれました。

今回初めてPTA研修会に参加させて頂きました。各高校ともさまざまな行事を行いながら子供達を支えているんだと勉強になりました。今後も学校と協力しあいながら子供達が楽しく学校生活を送れるようPTA活動を

行っていきたいと思えます。

群馬県高等学校 PTA指導者研究会

本部 会計 林 寿子

十一月十日、群馬県高等学校PTA指導者研究会が前橋テルサにて行われました。PTA活動の役割について協議する研究会です。県内の高校から多くのPTA関係者が参加されました。開会式の開式のことばは、本校のPTA会長の倉持節子さんでした。

そして、表彰状、感謝状の贈呈が行われ、本校の前PTA会長の津久井勇次さんが表彰されました。津久井前会長は、とても温厚で誠実な方で、常に前西の向上について考えられ、ご尽力されました。続いて、立木早絵氏をお招きし

で、「トーク&コンサート」さらなる一歩を踏み出そう」と題した記念講演が行われました。立木氏は、2歳のときに、病気が原因で失明します。しかし、旺盛なチャレンジ精神で、アフリカの最高峰キリマンジャロ登山など、多彩な挑戦を続けた全盲のチャレンジャーとして知られています。現在は、シンガーソングライターとして活動しています。立木氏は素直で、ひたむきで、感謝する心をいつも持ち続けています。人一倍努力されていると感じられる力強い歌声でした。生きる力を分けていただきました。倉持会長が立木氏を舞台中央までご案内いたしました。

午後の研究協議では、各学校の特色を生かしたPTA活動が発表されました。グローバル化の進展や人工知能の進化など、社会の加

速度的な変化に対応していくためには、学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校とPTAが共有し、連携・協働しながら、PTA活動に取り組んでいくことが大切だと思えました。



国際科だより

国際部長 福島 達夫

前橋西高校国際科は、「国際感覚豊かな人材の育成」と「外国語能力の育成」を教育の大きな柱としています。「国際感覚」を身につけるために、カナダ研修・スピーチコンテスト・日韓交流事業（派遣）・インターナショナルデー・交換留学生の受け入れ等、数多くの行事を行っています。

昨年12月に行われたカナダ研修には、普通科6人、国際科6人の12人の生徒が参加しました。カナダのバンクーバー近郊のサーレーという町を中心に、語学研修・大学訪問だけでなく、地元の高校や老人ホームでの交流を深めました。そこでは日本を紹介するプレゼンテーションを行い、カナダの同年齢の高校生やシニア世代とのさまざまな意見交換を行いました。自分の意見を言えたこと・逆にうまく伝えられなかったことのどちらも、今後の進路選択や自己実現のために貴重な体験になるでしょう。また、移民の多いカナダでのホームステイ経験も、今後の人生の幅を広げる鍵となるでしょう。今回のホストファミリーには、中国・インド出身などのアジア系やジャマイカ系・メキシコ系などの人々がいて、多民族国家のカナダを経験する良い機会でした。来年度も、より良い研修を企画する予定です。また、同窓会から研修参加者に援助もいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

国際科の生徒の中には、積極的に短期留学を行っている生徒もいます。国際感覚豊かな人間になるには、外国へ出て行って直接その国の人・文化に触れるのが一番です。日本国内においては、外国人との交流を積極的に行うのが良いでしょう。是非さまざまなチャンスを活用して欲しいと思います。

二つ目の柱である外国語能力を育成するために、少人数授業やALTの授業等の国際科の利点を生かして外国語を学習しています。その結果、複数の生徒が英検二級を取得することができました。ここ数年は、国際科の生徒の約半数が、英検準二級以上を取得して卒業しています。また進学についても、文系学部を中心に国公立大学や難関・中堅私大の合格者も輩出しています。大学入試に「英語外部検定利用入試」が採用されることになりました。国際科の利点をうまく活かすことで対応していく予定です。

世界は大きく変化しています。これから世界に飛び出していく生徒たちが、少しでも国際感覚や語学力を身につけられるように、国際科では応援しています。将来、前橋西高校で学んだ卒業生たちが、その社会の中で活躍できることを期待しています。

..... インターナショナルデー

1年5組 逸見 紅芽

群馬県中のALTの先生に集ってもらい、インターナショナルデーを行った。昨年に引き続き来てくれた先生もいた。どの先生も個性的でフレンドリーだった。午前は授業と質問コーナーで、どのクラスも先生と仲良くなっていた。午後は体育館に集まって5組全体でゲームをした。同級生や先輩と交流ができた。楽しいだけでなく英語での会話の方法も学び、もっと英語が上手になりたいと思った人もいただろう。来年はどんな先生が来てくれるのか楽しみだ。

1年5組 黒岩 美那

様々な国のALTの先生が来て午前と午後に分かれてアクティビティを行いました。国際科の先輩方と交流する初めての行事だったし、沢山のALTの先生と会話を交わす事も無かったので少し緊張しました。英語の手話を勉強したり、質問や会話を楽しんだり、クラスメイトと協力してゲームをしたりしてクラスや学科としてよりいっそう仲が深まったと思いました。今年は自分達が第二外国語の発表をする立場になるので、新しく言語を学ぶのが楽しみです。



2年5組 アオエ ソアレス ナターシ ルリ

インターナショナルデーは私にとって毎年楽しみにしている行事です。なぜなら、ALTの先生方はとても優しく個性を持っている方々が沢山いるので話を聞くだけでとても面白いからです。また、英語、もしくは日本語が理解できないときがあってもお互い助け合うことで不安がなくなり、国際感覚が高まると思います。特に印象に残ったのがカナダ出身の先生の授業を受けたことです。私は将来の職業について迷っていましたが、この体験を通して夢が見え始めたと感じています。

2年5組 飯塚 緋穂

私は英語が苦手なので、インターナショナルデーでついていけるのかととても不安でしたが、午前の部ではそれぞれ学んで

いる語学を使っ
ての発表など、
ALTの方との
コミュニケーションの機会
がありたくさ
んの事を楽しく学
べました。午後
の部では、グル
ープに分かれ



ALTの方々とゲームをしました。英語だけでなくジェスチャーなども使って表現したりと、グループで協力して楽しめました。不安もありましたが普段学べないことが楽しく学べた貴重な日でした。

3年5組 田村 彩香

第二外国語の発表では、ダンスや歌、紙芝居などがあり、みんな楽しんでるので午前中の活動も私は好きです。しかし、私がこの行事で一番好きなのは、午後の活動です。ALTの方々と、振り分けられたグループで、用意されたゲームを競い合います。学年の差を感じず、交流できるので、とても盛り上がります。「国際科」としての活動なので、毎年違いとても印象深いです。

3年5組 木暮 優雅

第二外国語の各々の発表はどれも魅力的でした。午後の部では仮装をして第二体育館でゲームをしました。この行事を通して思ったことは英語がもう少し話せたらいいのになあということです。

ALTの先生方との貴重な交流は良い体験となりました。又、

他学年の生徒との交流ができることもインターナショナルデーの良いところだと思います。この日はとても時間が短く感じました。それだけ充実していたと思います。





修学旅行感想文

沖縄の海

一組 村山 姫菜

十一月八日から十一月十一日までの四日間、沖縄に行ってきた。一回東京に行ってから飛行機に乗ったので、移動時間は片道約三時間ととても時間がかかりました。しかし、今まで飛行機に乗ったことがなかったので、飛行機での移動はともうれしかったです。飛行機から見た沖縄の海は東京の海とは違いエメラルドグリーンで一番底が見えるくらい透き通っていて、早く三日目のマリン体験で沖縄の海に入りたいと思いました。三日目のマリン体験では、二グループに分かれました。私のグループは最初にシュノーケリングで後にカヤックの体験を行いました。シュノーケリングでは、ウエツトスーツを着ました。私は着たことがなかったので、着たときとてもきつく締め付けられて息苦しかったです。海に入ったらまっ



たく気にならなくなりました。泳いでいる最初の五分ぐらいは上手なかな前に進めませんでした。使用方を教えてもらい、前に進むことができたので良かったです。泳ぐ時にフィンをつけるかつかないかでこんなに進みが違うんだというくらいに一蹴りで長い距離まで進めて感動しました。海の浅いところまで行くとたくさん種類の魚たちがいて、パンのえさやり体験もできました。やはりえさを持っていると魚がたくさん寄ってきてとてもかわいかったです。いつもはガラス越しに見ているので、こんなに目の前で見ることはないなと思いました。また、カヤック体験では二人ペアになって漕ぎましたが、思った方向に動かすのが本当に難しく、慣れるまでだいぶ時間がかかりました。途中から海の下まで入れ、力強く漕ぐと前に進むことが分かり、早く漕ぎました。

私は沖縄の海は今まで見た中で一番きれいで絶対に汚れてほしくないと思いました。

沖縄に行つて

二組 松井 杏奈

先だと思っていた修学旅行が、もう終わってしまった。初めての体験がたくさんありました。初めての空港、飛行機、沖縄、グラスボートなど。修学旅行だからこそ味わえることが出来たと思います。しかし、すべてが楽しいことだらけではありません。沖縄戦についても深く考えさせられました。佐喜真美術館の「沖縄戦の図」はとても大きな絵で、海へ飛び込む女の人、火に燃えていく人々、前を見つめる子ども。戦争がいかに人々の命を奪ったのかがよく分かりました。屋上から見えた普天間基地は、面積はとも広く、オスブレイの姿も見ることが出来ました。沖縄での米軍機による事故は少なくありません。一般市民を巻き込んでしまう事故だつて起きるのです。戦争の説明を受けながら、基地を反対する沖縄の人々の気持ちを考えることが出来ました。二つの米軍基地を間近に見ることが出来て、本当に良かったと感じました。班別のタクシー研修では、沖縄の楽しさを味わうことが出来ました。グラスボートでは海の中を見ることが出来て、魚にえさをあげたりしながら、有意義な時間が過ぎました。テレビでみていた美ら海水族館のジンベエザメを近くで見れたこと。ナマコを触つたこと。運転手の中道さんには感謝でいっぱいです。たくさん会話をして下さり、シュークリームも買っ

ていた。き、楽しませていただきました。クラスの人たち、班のメンバー、学年全体で修学旅行は楽しめたと思います。エイサー体験もとても良い思い出です。小・中の修学旅行とはまた違う楽しさを実感出来て、充実した修学旅行になりました。沖縄で学んだことは忘れず、活用できることは活かし、もつと学ぶことは学んでいかなければならないなと思います。

旅の記憶

四組 磯田 結衣

私たちは早朝のまだ暗い中、沖縄へと旅に出た。まだ眠い目をこする者、沖縄への旅を心待ちにしている者の様子を私は記憶した。それからしばらくして、「さとうきび畑の唄」というDVDで私たちの沖縄についての学習が始まった。羽田空港に着き、添乗員の誘導により搭乗口へ。そして、私たちは大きな大きな空へと飛び立った。二時間後、ようやく沖縄に着いた私たちは、夏に戻ったかのような感覚にさらされた。

は真つ暗闇で何とも言えぬ、ただ重い雰囲気だけを醸し出していた。また、壕の中には茶碗のかけらのようなものが落ちていたため、住民たちがここを生活の場として使っていた様子を(私の)頭の中であらわしていった。

三日目、私たちの班は森のガラス館に行った。職人の手を借り、私は一つのグラスを作った。最初、私は一つの高温のため、赤い色をして輝いていたが、だんだんと変わりゆくガラスの色を私は目で楽しんだ。

四日目の中身の濃いスケジュールを終えた私たちは、那覇空港へ向かった。それからバスの運転手さん、バスガイドさん、看護士さんらに別れを告げて沖縄を後にした。私たちがこの修学旅行で手に入れた大切なものは、「思い出」だ。これは誰にとっても忘れることのない掛け替えのないものになるだろう。

普天間基地が見降ろせる嘉数高台や、沖縄戦を物語った絵を見ることのできる佐喜真美術館に行つた。それから待ちに待ったリゾートホテルへと向かった。ホテルに着いた私たちは、想像以上の豪華さに驚きを隠せない様子であった。





カナダ研修



カナダ研修

1年5組 田中 倫悟

私は、カナダの文化や言語を学びたいと思い、二週間のカナダ研修に参加しました。

今回カナダ研修に参加した十二人のほとんどが海外に行った経験が無く、カナダに到着するや否や不安や緊張でいっぱいでした。

研修では毎日、英会話クラスで勉強をしたり、ショッピングに行ったりする事が、そこで実際に一対一で全て英語で会話する事があったので、上手く会話が出来た時は、本当に自信もつき、英語に



対する緊張感が無くなっていきました。その他にも、現地の学校に行き、日本文化のプレゼンテーションをしました。カナダの生徒達も日本の文化に興味を持ってくれ、とても盛り上がったのを覚えています。

週末は、ホストファミリーとクリスマスパーティーをしたり、ダウンタウン観光やテレビゲームでダンス対決もしました。

一日一日がとても楽しく、二週間があつという間に過ぎていきました。

今回のカナダ研修で色々な事を経験する事が出来ました。私が一番良かったと感じた事は、将来の夢が見つかった事です。色々な事を経験し、この経験を今後活かしていきたいと思いました。

カナダ研修

2年4組 佐藤 真希

私は、海外の文化を学ぶとともに、自分の夢を探すためにカナダ研修に参加しました。

カナダでは何もかもが新鮮で目まぐるしく毎日が過ぎて行きました。英会話クラスでカナダの文化や英語を勉強したり、現地の学校やモール、またシニアホームを訪れました。一つ一つの場所に訪れるたび日本とまったく違うので戸惑った事もありましたが、とても良い思い出になりました。



また、週末にはホストファミリーと過ごしました。バンクーバーの大きなモールに行ったり、ミュージカルを見たり、教会に行って小さなライブを聞いたりしました。家に小さな子がいたので中々遠出は出来ませんでしたが、家の中でホストシスターと遊んだり、英語で話をしたりするのも英語の勉強になって、少し自分が成長出来たような気がします。



残念ながら私は、自分の夢を見つける事が出来ませんでしたが、研修に参加した事で視野が広がり夢への一歩をふみだせました。そして自分が想像していたものよりずっと多くの経験、そして私のもう一つの家族が出来ました。私はこの多くの思い出を今後に生かして夢を見つけたいです。

教務部だより

教務主任 石関 政志

保護者の皆様には、平素より本校の教育方針にご理解、ご協力をいただき、まことにありがとうございます。

さて、今年度の第二回学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、それについて少し書いてみたいと思います。

我々教員が常々腐心していることは、生徒の学力向上です。生徒の可能性を最大限に引き出し、進路実現に向けて必要となる確かな学力を身につけさせたい。そのために、主体的・対話的で深い学びの授業への転換を目指し、様々な取り組みをしています。ただ、いかに授業が充実しても、家庭学習の時間が充実しなければ、学力の伸長は望めません。つまり、予習・復習なしで授業に臨んだのでは、学力は定着しないと云うことなのです。

保護者アンケートを見てみると、お子さんの家庭での学習時間が充分だと感じている家庭はわずか7%に過ぎません。充実しているとは言えないと答えた方が40%。どちらかと充実していないを選んだ方を合わせると75%にのぼります。

それを裏付ける生徒のアンケート調査があります。平日における家庭学習の時間の調査で、一時間未満と回答した生徒が62%。これには、学習時間ゼロという生徒も含まれているわけで、驚異的な数値と言えます。

生徒は現状をどう捉えているのでしょうか。「次学期どれくらい

勉強したいと思いませんか」という問があります。その答としては、一時間以上と答えた生徒が43%。二時間以上が36%です。実はこの間には、一時間未満という選択肢は存在していません。

アンケートは分析次第で様々な結果を導き出せるわけですが、希望が見える点を紹介して終わりにします。

同じ平日の学習時間アンケートですが、普通科男子に限って言いますと、家庭学習一時間未満と回答した生徒は、一年次72%、二年次59%、三年次42%と激減します。女子が一貫して60%以上であるのと比べると際立った違いを見させています。さらに、普通科三年男子では、一日三時間以上学習している生徒は23%で、女子の6%を大きく凌いでいるのです。

この違いはどこから来るものなのでしょう。男子と女子では、進路に対する意識の持ち方に違いがあるのでしょうか。リアルに自分の進路を捉えたとき、学習に対する意識が変わります。意識が変わりますと、行動が変わり、そして人生が変わります。是非ご家庭で、お子様の進路について真剣に話をする機会を持つてください。十年後の幸せのためには今何をするべきなのか。抽象的ではなく、具体的な目標を早いうちに見つけさせてください。

学校では保護者の皆様とともに生徒の成長を助けて行きたいと考えております。今後とも、ご協力をお願いします。

学校評価（保護者）
集計結果
第2回は10P参照

生徒指導部だより

生徒指導主事 佐藤 弘之

規範意識の育成を図りつつ、生徒の問題行動を未然に防ぎ、健全な高校生活を送らせ、かつ学習効果を上げるためには、家庭・学校と地域の連携は、たいへん重要なものです。家庭・学校・地域がそれぞれの機能を十分に発揮し、緊密に連携をとりながら協力していけば、生徒は明るく伸びやかに成長していくものと考え、日常の指導を行っています。

1 携帯電話等の指導について
●昨年度「前西スマホルール五カ条」を策定しました。これは、生徒自身が話し合い活動を通じて主体的に策定することにより、インターネットの安心・安全な利用のためのネットモラルやネットリテラシー等の向上を図るとともに、インターネットを介した問題行動やいじめ等の未然防止を図ることを目的としたものです。

生徒会を中心に各クラス委員長、生活委員をメンバーとし、全校生徒からアンケートを実施、それをもとに数回委員会を重ねルールを策定しました。

『前西スマホルール五カ条』
一 依存しないで家族や友だちとの時間を大切に
二 使用時間は24時まで
三 一日合計4時間以内
四 無断で個人が特定できる写真を載せない
五 フィルタリングをかける

この「前西スマホルール五カ条」は、本校のホームページにも掲載し周知をしています。今年度は、自ら作成したルール

を遵守できたかなどについてアンケート調査を実施しました。結果はルールを十分守れていない様子でした。今後の指導に役立てていきたいと思えます。

●携帯電話等の校内への持ち込みは許可制となっております。持ち込む場合は、本校の指導方針を理解した上で、許可願を生徒・保護者の連名で提出していただいております。

●携帯電話の校内での使用や身につけることは、禁止しております。これに違反した場合は、指導を行います。また、検査中に携帯電話を使用した場合には、不正行為とすることがあります。

●昨年、神奈川県で起こった事件を受け、生徒・保護者の皆様にもお願いを申し上げたところですが、再度ご確認をお願いします。①SNS等を通して知り合った人と会わない。②自分の写真等（他人の写真も含め）個人情報を送らない。③インターネット上での出会いの細心の注意を払う。ぜひともご家庭で生徒と話し合う機会を設け、生徒自身が安全なインターネットの利用ができるようご指導をお願いいたします。

2 交通安全について
●道路交通法の改正により、自転車は車両とみなされ、自転車運転中に危険なルール違反（信号無視・一時停止不履行・並列進行・急な飛び出し等）を繰り返すと、「自転車運転者講習」を受けることになり、高校生も対象となります。生徒には周知徹底し、交通事故防止の指導を継続しますので、ご理解ご協力の程、お願いいたします。

●定期的な自転車の点検整備（ブレーキ・ライト・ステッカー等）

●今後の人生を心豊かに生きていくための基礎を養う大切な時期を送る高校生にとって、アルバイトは必要性が高いものとは思われません。日々の大切な時間は、本来学習や読書に向けられるべきものです。したがって本校の基本的な考え方として、例外を除いてアルバイトの実施を勧めることは、ありません。

●生徒・保護者からの相談については、迅速に対応しております。複数のスタッフで、組織的に指導方針を考え、その生徒や保護者に対する適切な支援ができるよう、カウンセリングを中心とした指導を行っています。

●アルバイトは生徒と保護者からの届け出を考慮して、行わせています。

●1年生は夏休み以降、2年生は通年、3年生は進路内定以降に実施を認めています。なお、成績や生活に問題がある場合は、アルバイトを制限しています。

●今後の人生を心豊かに生きていくための基礎を養う大切な時期を送る高校生にとって、アルバイトは必要性が高いものとは思われません。日々の大切な時間は、本来学習や読書に向けられるべきものです。したがって本校の基本的な考え方として、例外を除いてアルバイトの実施を勧めることは、ありません。

4 教育相談の利用
●生徒・保護者からの相談については、迅速に対応しております。複数のスタッフで、組織的に指導方針を考え、その生徒や保護者に対する適切な支援ができるよう、カウンセリングを中心とした指導を行っています。

●臨床心理士がスクールカウンセラーとして勤務しています。日程（配布済み）を確認し、担任または教育相談担当教諭をとおして申し込んでください。

5 服装・頭髪について
●学校指定の制服を正しく着用させるよう、指導しております。ス

カーットの長さや、ズボンの腰ばきなど、保護者・地域の協力をえながら指導してまいりたいと考えております。

●髪の変色・脱色、加工などは禁止しています。このようなことが行われたときは、迅速に指導を行いますので、ご協力をお願いします。

本校生徒の指導につきまして、ご意見やご質問がありましたら、担任または生徒指導部までご連絡ください。

進路指導部だより

進路指導主事 田中 純夫

保護者の皆様、ご子女のご卒業を心よりお慶び申し上げます。さて、卒業後の進路を取り巻く状況は、景気動向やその年度での志望系統の変化などによって予測が難しく、就職・専門・短大・大学それぞれの進路選択において予断を許さない状況が続いています。大学に関しては、昨年度と同様、私大では「文高理低」の傾向が継続し、文系学部就職状況が好調の中、文系・社会学系が志願者を集めています。また、受験生の心理的、経済的負担軽減につながる入試方式の変更やネット出願、さらには「入学前予約型給付奨学金」の新設や大学独自の「英語外部検定試験」の導入など、志願者増加を誘発する入試改革も目立ち、志望校決定に苦慮する要因になりました。

しかし、卒業生たちはその困難な状況に果敢に立ち向かってきました。「高校三年間勉学に励み、部活動や様々な真剣な営みの中で心身を鍛え、日々成長した先に自

分の可能性をより大きく開花させる」という進路実現の基本は変わりません。ご子女の不安と戦いながら進路実現に向かう一人一人の表情には確かな成長が見られ、今年度の進路の成果にも表れました。就職においては、高卒有効求人倍率が昨年より増加する中、9月の一次選考では苦戦を強いられましたが、粘り強く努力し採用試験に挑み内定を勝ち取りました。専門学校や短大・大学など進学に関しても、自分の適性を冷静に見極めて自己の可能性を広げる堅実な進路選択をしています。これから先も、各々の進路に応じて、自らの力で前途を切り開き頑張ってくれるものと確信いたしております。

平成29年度
3学年進路決定状況

| | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 民間就職 | 公務員 | 専門 | 短大 | 大学 |
| 11名 | 4名 | 68名 | 17名 | 56名 |

(1月24日現在)

学年だより

叱り方

一学年主任 渡邊 晃

緊張した面持ちで、期待と不安を胸にスタートした高校生活も間もなく一年を迎えようとしています。お子様の少しずつの成長を感じられるでしょうか？アンケートの結果によると1年生の4割以上が、平日の学習時間1時間未満で

す。保護者の方も家庭学習が十分でないと同じ比率で答えています。私も同じように感じています。

テレビの前でダラダラしていたり、食事中でもスマホに夢中になつていたりする姿を見ると、つい「いい加減にしないさい！」と声を荒らげそうなきがありませんか？大切な我が子だからこその一喝ではあります。一方、「もう高校生なのだから、いつまでも親が叱っていいは」と迷う気持ちもあるでしょう。子どもと大人の真ん中に立つ高校生の学習のさせ方、叱り方を考えてみましょう。

基本的には、叱っても根本的な解決にはなりません。高校生になると「叱られるのが怖いから」という理由で勉強をすることは少なくなるでしょう。

それでも叱ってしまうときはどうしましょうか？親としての強い叱咤激励が必要な場面もあるはず。そのとき、以下の注意点がコラムに載っていました。

「あれもこれも」と叱らない
「いつまでスマホばかりいじっているの！」と叱り始めたのはいいけれど、「だから成績が下がった」「机の周りだつていつも散らかったまま」などと叱る内容が広がっていかないように気をつけましょう。
・言うべきことを言ったら、気持ちを切り替える

叱った後は、保護者のかたから気持ちを切り替えるように配慮してあげてください。機嫌を取るようなことをする必要はありませんが、言うべきことを言った後は、できるだけ普段通りに振る舞うように努めてください。
・人との比較はしない
一番気をつけたいことが、その

子どもや兄弟と比較しないことです。「毎日〇時間勉強すると、あなたは自分で決めたはず」「〇時間もスマホばかりしているのはいけないと思う」など、あくまでお子さまと保護者の関係の中だけで叱るようにしてください。

最後に、7割以上の生徒が学習や今後の進路のことで悩んでいます。成績や将来のことに不安を感じているのです。「〇〇の職業に就きたい」「大学で〇〇の勉強をしたい」などといった目標を見つめるためには、お子さま自身の世の中に対する興味・関心のアンテナが大きく広がっていることが必要です。もつと中長期的な、自分の人生をデザインするような視点で、勉強する理由を見つけるように、お互いにお子さまをサポートして行きましょう。

三年0学期

二年主任 須藤 鈴枝

今年度は平成三十年。来年度の五月からは新しい元号に変わることが決まりました。それと共に世の中の変化はめまぐるしいものです。

二年生にとつてとても楽しい行事のひとつである「沖繩修学旅行」が十一月八日から三泊四日、天候にも恵まれ、無事に行われました。「美ら海」の名にふさわしいエメラルドグリーンの海、十一月でも海に入れる暖かい気候、沖繩そばやチャンプルー、海ぶどう、ちんすこうといった食文化、みんなが踊ったエイサーなどの琉球王国や沖繩の文化に触れました。国際通りや三日目別研修で満喫できたことでしょう。

そして地上戦が行われ、現在も7割の在日米軍基地がある沖繩の

歴史と今を普天間飛行場隣の佐喜真美術館、二日目の入壕体験、平和講話、ひめゆり資料館の見学等を通じて感じてきたと思います。感受性豊かな若い頃の体験や学習はとても大切なものです。

費用はもちろん、準備や送迎等保護者の皆様の協力なしにはできなかったことです。ありがとうございました。生徒達からのお土産話は聞けたでしょうか。



また、十二月には群馬県選挙管理委員会の協力を得て「模擬選挙」を行いました。これも実際に体験してみる貴重な機会となりました。今回は群馬テレビの番組「はばたけ ぐんまの子どもたち」にも取り上げられ放送されました。十八歳になれば主権者として、政治に参加できます。公約を調べたり、聞いたりして一番良い候補者を選ぶ選挙に行つてほしいです。未来を担う若者の投票率が上がる事を願っています。

二年生の3学期は、別名「三年0学期」と言われます。進路は様々ですが、自分は何をしたいのか、何に向いているのか、そろそろ目標を決めて進んでいっていただけたらと思います。学習面に関して、授業はもちろんですが、家庭学習の充実を目指してください。

高校生活、あと一年。私たち教職員も保護者の方と共に支援していきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

卒業だより

三年主任 笹川 雅彦

卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。この日を迎えるまでには様々なご苦労があったことと拝察いたします。学年団共々お慶び申し上げます。

学年主任として三年間持ち上げたのは私自身今回が初めてであり、非常に思い入れの強い学年となりました。卒業生の皆さんとの思い出を語りばきりがないので、心に残っているあることはなむけとして送りたいと思います。

先日プロ野球の中日・阪神・楽天で監督を務めた星野仙一さんが亡くなりました。現役時代からファンだった私としては大きなショックがありました。星野さんには数々の名語録がありますが、そのひとつに「成功の反対は失敗じゃない。何もしないことだ。」(実は多くの方が使っており、出典不明ですが...)というのがあります。失敗を恐れず挑戦することの重要性を語ったものです。皆さんも様々な場面でも進もうか進むまいか迷った経験があるはずですし、今後数限りなくそういう場面が訪れます。そんな時ぜひこのことは思い出して下さい。もちろん挑戦して失敗することもありますが、しかしその経験は必ずあなた自身を成長させるはず。少なくとも何もせず失敗をするよりは、はるかにましです。

これから先の皆さんの人生は「選択」の連続です。しかも自分一人です。決断しなければならなくなります。人生を大きく左右するような問題にも直面します。当然悩むことも多いはずですが、その時に少し挑戦する勇気を持つてみませんか。新たな自分が見つかるとは思いません。

| 評価 | 内容 |
|----|---------------|
| 1 | はい。 |
| 2 | どちらかと言えば、はい。 |
| 3 | どちらかと言えば、いいえ。 |
| 4 | いいえ。 |

学校評価 (保護者) 集計結果 第2回



(平成29年12月実施)

| No | 質問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 合計 | 平均 |
|----|---|----------|----------|----------|----------|-----|-----|
| 1 | 学校は、生徒、保護者、地域の期待を踏まえ、学校の特色化を図っている。 | 82(19%) | 277(63%) | 78(18%) | 3(1%) | 440 | 2.0 |
| 2 | 学校は、個々の生徒の進路にあった教育課程を用意している。 | 78(18%) | 278(63%) | 77(17%) | 9(2%) | 442 | 2.0 |
| 3 | 2学期の学校行事(体育大会、マラソン大会、修学旅行など)が充実している。 | 166(37%) | 229(52%) | 39(9%) | 9(2%) | 443 | 1.8 |
| 4 | 1年、2年の数学で実施している習熟度別授業について、積極的に実施すべきである。 | 267(60%) | 156(35%) | 16(4%) | 4(1%) | 443 | 1.5 |
| 5 | 1年、2年の英語で実施している少人数制授業について、積極的に実施すべきである。 | 272(62%) | 146(33%) | 22(5%) | 2(0%) | 442 | 1.4 |
| 6 | 土曜課外授業について ①もう少し課外の日数を増やした方がいい。②もう少し課外の日数を減らした方がいい。③現状のままで良い。④よく分からない。 | 108(24%) | 35(8%) | 199(45%) | 99(22%) | 441 | 2.7 |
| 7 | 各学年が平常時に実施している早朝課外授業(1学年は2学期から実施)について、是非ご子息・ご息女を参加させたい。 | 125(28%) | 168(38%) | 104(24%) | 44(10%) | 441 | 2.2 |
| 8 | 年度当初に配布した学習の手引きを、ご子息・ご息女は学習計画を立てる上で役立てている。 | 37(8%) | 135(31%) | 180(41%) | 88(20%) | 440 | 2.7 |
| 9 | 学校から出される各教科の課題について。①家庭での学習が足りないのもう少し課題を増やして欲しい。②課題が多すぎるのもう少し減らして欲しい。③現状のままで良い。④どれくらい課題が出ていくかよく分からない。 | 110(25%) | 29(7%) | 168(38%) | 131(30%) | 438 | 2.7 |
| 10 | ご子息・ご息女の家での学習時間は、十分だと感じている。 | 31(7%) | 74(17%) | 153(35%) | 174(40%) | 432 | 3.1 |
| 11 | 定期考査前の放課後、学年ごとに実施している学習会は、ご子息・ご息女にとって役に立っている。 | 100(23%) | 199(45%) | 96(22%) | 47(11%) | 442 | 2.2 |
| 12 | 学校全体で取り組んでいる遅刻防止指導は十分に行われている。 | 158(36%) | 242(55%) | 34(8%) | 9(2%) | 443 | 1.8 |
| 13 | 学校は、髪型、服装、生活態度等について、適正に指導している。 | 192(43%) | 213(48%) | 29(7%) | 9(2%) | 443 | 1.7 |
| 14 | 学校では、あいさつがきちんと行われている。 | 126(28%) | 267(60%) | 41(9%) | 9(2%) | 443 | 1.8 |
| 15 | 学校は、通学時の安全についてしっかりと指導を行っている。 | 113(26%) | 266(60%) | 54(12%) | 10(2%) | 443 | 1.9 |
| 16 | 学校では、自転車の傘差し運転防止の指導は十分に行われている。 | 195(44%) | 209(47%) | 29(7%) | 9(2%) | 442 | 1.7 |
| 17 | 高校生は、アルバイトをすべきではない。 | 31(7%) | 83(19%) | 132(30%) | 188(43%) | 434 | 3.1 |
| 18 | ご子息・ご息女の進路希望について把握している。 | 233(53%) | 150(34%) | 45(10%) | 11(3%) | 439 | 1.6 |
| 19 | 学級担任は、ご子息・ご息女の進路希望についてよく指導している。 | 126(29%) | 242(55%) | 60(14%) | 11(3%) | 439 | 1.9 |
| 20 | 学校は、進路に関する情報を生徒と保護者に十分公開している。 | 80(18%) | 226(51%) | 113(26%) | 21(5%) | 440 | 2.2 |
| 21 | 公開授業や各種公開行事に積極的に参加している。 | 42(10%) | 115(27%) | 158(37%) | 117(27%) | 432 | 2.8 |
| 22 | 学校は、学校の状況を積極的に保護者や地域に情報発信している。 | 58(13%) | 248(56%) | 107(24%) | 28(6%) | 441 | 2.2 |
| 23 | 学校生活・学校教育に必要な施設・設備が整っている。 | 63(14%) | 213(48%) | 132(30%) | 32(7%) | 440 | 2.3 |
| 24 | 学校は、清潔で清掃が行き届いている。 | 52(12%) | 236(54%) | 113(26%) | 38(9%) | 439 | 2.3 |
| 25 | 学校では、生徒の心身の健康に関して、積極的に情報を発信したり、相談に適切に対応したりしている。 | 63(14%) | 263(60%) | 82(19%) | 29(7%) | 437 | 2.2 |
| 26 | 前橋西高校ホームページをご覧になったことはありますか。1 はい 4 いいえ 以下の質問27~30は質問26で「はい」とお答えになった方にお尋ね致します。 | 256(59%) | 20(5%) | 7(2%) | 151(35%) | 434 | 2.1 |
| 27 | 「学校案内」、「学科紹介・学科内容」は充実していましたか。 | 82(29%) | 158(56%) | 28(10%) | 12(4%) | 280 | 1.9 |
| 28 | 「前西ニュース」の内容は充実していましたか。 | 72(26%) | 166(59%) | 31(11%) | 12(4%) | 281 | 1.9 |
| 29 | 「進路」の内容は充実していましたか。 | 63(22%) | 137(49%) | 67(24%) | 14(5%) | 281 | 2.1 |
| 30 | 「部活動」の内容は充実していましたか。 | 70(25%) | 143(51%) | 55(20%) | 14(5%) | 282 | 2.0 |
| 31 | 学校からの連絡等の配布物は、必ず目を通している。 | 147(33%) | 170(39%) | 89(20%) | 35(8%) | 441 | 2.0 |
| 32 | ご子息・ご息女は、定期試験の結果を見せていますか?(見えていますか?) ①いつも見せてくれる(いつも見ている) ②時々見せてくれる(時々見ている) ③あまり見せてくれない(あまり見えていない) ④全く見せてくれない(全く見えていない) | 226(51%) | 104(24%) | 67(15%) | 45(10%) | 442 | 1.8 |
| 33 | ご子息・ご息女の成績について理解していますか? ①しっかり理解している ②おおその順位を理解している ③本人に任せているのでよく分からない ④子供が話をしないので全く分からない | 166(38%) | 219(50%) | 40(9%) | 16(4%) | 441 | 1.8 |
| 34 | 学校の指導によって、お子さんの学習に対する意欲・意識は向上した。 | 61(14%) | 193(44%) | 130(30%) | 53(12%) | 437 | 2.4 |
| 35 | 家庭でも、髪型、服装、生活態度等について、しっかり指導している。 | 149(34%) | 215(49%) | 58(13%) | 14(3%) | 436 | 1.9 |